



目次

三輪田米山展に寄せて	1
米山の魅力！	2
書評コーナー	3
ブックハンティング 2010	5
図書館ホームページのリニューアル	6
図書館サポーター活動日誌	7
図書館日誌	8



三輪田米山展に寄せて

愛媛大学教育学部教授 三浦 和尚

今、愛媛大学ミュージアムで、第1回三輪田米山展が開催されている。期間は、来年3月末までだが、計画では、半年ごとに何回か開催することになっている。

この企画は、愛媛大学図書館が中心になってのものであるが、お手伝いさせていただいた者として、その魅力をわがままに語ってみたい。

三輪田米山（みわだべいざん）は、1821（文政4）年、伊予松山の日尾八幡神社神官三輪田清敏の長男として生まれ、1908（明治41）年に没した、伊予の神主であり、書家である。明治以降の日本の代表的な書家の一人として、書の世界では評価されている。

私自身は、書家ではないので、研究的あるいは分析的というよりは、一人の人間として感覚的に魅入られたというのが正しい。本当は初めは「へんてこな字だ」と思っていた。が、「何か気になる字」でもあった。「何か気になる字」は、「病みつきになる字」になった。

米山に魅入られる人はふたつのタイプに分かれる。私のようにゆっくりと病気になっていく人。もう一つのタイプは、一目会ったその日から恋に落ちてしまう人である。

いずれにしても、その恋の病は、米山の作品の造形的な面白さ、線の美しさ、それらをないまぜにして立ち現われるエネルギーの強さによるのであろう。私自身、米山作品を見たとき、鳥肌が立ったことが何度もある。書を見て鳥肌が立つことは、そんなにあるものではない。

米山は神官だが、私はその作品は神の領域だと思っている。神官だからというので

はない。おそらく、人知の及ばぬ境地を信じていることができる人が、その境地を求めて筆をふるったのではないかということである。だから、米山の作品には俗臭がない。こう書いたらうまく見えるだろうなどといった作為もない。ひたすら筆をふるっている。

米山の仮名が最近かの良寛に比して語られることがあるのは、おそらくそういった理由である。

その米山が、なぜ愛媛大学に、というところだが、それは元愛媛大学教育学部教授で米山研究の第一人者である、故浅海蘇山先生が、ご自身の研究の過程で『米山日記』を図書館に収蔵されたことが大きい。

『米山日記』は、総数300冊余り、そのうち202冊の原本が愛媛大学図書館に収蔵されている。米山は28歳から81歳まで、日記を書き続けており、毎日の天気、買い物、値段、地震の様子、外国の船が三津に來た騒動など、書としては言うまでもなく、あらゆる分野の歴史史料として貴重なものとなっている。

単に書家の記録というのではなく、歴史的、研究的広がりを持つ一級資料というわけである。

第1回三輪田米山展では、漢字作品、仮名作品、日記、短冊、拓本など、その作風の違いも明確にして、米山の多様性を意識した展示を行っている。

愛大ミューズに足を運んでいただいて、どこからでも米山の魅力に触れていただければ、関係者としてこれほどうれしいことはない。

（みうら かずなお）

米山の魅力！

前図書館事務課長 平岡 尚徳

米山ファンの皆様，図書館 2 階に，米山の関連図書を集めた，「米山コーナー」が誕生しました。

必見すべき本は，「米山 人と書」です。この本は，元教育学部教授・浅海蘇山先生が 20 数年間研究した集大成であり，米山の人となり直にうかがえます。この本読まずして米山は語れないでしょう。一読すれば新たな発見があると思います。今後，絶版本等も蒐集する方向とのことなので，米山コーナーの更なる充実を期待しています。

私にとって米山とは，何であっても，興味があり気になる存在です。まるで恋人のここのようです。米山といえば，その「書」が魅力でしょう。残念ながら，書の良さがわかりません。そこで，私と米山との関係を述べてみます。

米山との出会いは，2 年前，図書館と米山顕彰会で共同開催した企画展「米山没後 100 年展 米山日記の世界」でした。大学の所蔵する米山作品は，「米山日記」と「二曲屏風」しかなく不安でしたが，お借りした「書」と「拓本」によって，こじんまりと上品な展示となったのです。初日から多くの米山ファンの熱い視線が作品にそそがれ，日記の展示に人溜まりができました。うれしくなって，ファンの方に話しかけました。「どちらから来られたんですか？」「まあ，遠方からありがとうございます！」米山はすごい！全国から人を集める。熱きファンのおかげで，企画展は大成功でした。米山展の中で，私と米山の距離は急速に接近し，にわか学芸員と呼ばれる「米山ファンもどき」が誕生したのです。

それから，米山に関わる様々な人との記憶に残る出会いがありました。そこから，2 人のご婦人とのご縁を紹介したいと思います。

東温市の藤岡さんは，米山展の期間中に展示品の「二曲屏風（鳥啼山客猶眠）」を見て，私に尋ねられました。「幼い頃より，お嫁に行くまでずっと見ていた屏風によく似ています。もしや某所にあったものでは？」とのことでした。寄付者の菊川先生（元教育学部教授）に由来を確認すると，藤岡さんがおっしゃったその通りでした。米山が取り持ってくれたご縁に 2 人で感動したのです。

そして，千葉県市原市の松本さんから，「金銭借用書」と「手習い手本」をいただきました。米山の金銭借用書の話聞いたとき，これはすごいと驚き，即，ご寄付をお願いしました。「松山にあるのが相応しい」と快諾していただき，米山が書いた「手習いの手本」までもいただきました。この手本のことは，「米山 人と書」の中で，蘇山先生も現認されています。この手本「唐詩五絶」が半世紀を経て，大学の所蔵となることに関わったことは大変幸運であり，松本さんとの出会いに感謝し，米山のご縁を感じました。

このような出会いが，私の「米山の魅力」なのです。私は，米山に感謝しています。米山に関わってから，歴史や芸術に関する価値観が変わり，目の保養を楽しむようになったのです。これからも米山が与えてくれる世界を楽しんでいきたいものです。

（ひらおか ひさのり）



書評コーナー

職員から利用者の皆さまへオススメです☆☆☆

書庫の中には…

資料整備チーム 武田 靖恵

図書館の書庫の中を皆さんはのぞいたことがありますか？「書庫の本は古そう」なんて思わないでください。今回は書庫の中から 3 冊、本を紹介したいと思います。

最近、テレビなどでもよく政治・経済ネタを放送しているなと思って手にした一冊。「豊国論」(著者:堀屋太一)(※①)は 1987 年に出版されました。この本のなかで、堀屋太一は日本人の性質を絶妙に指摘しつつ、日本の経済が直面する問題をわかりやすく論じています。時代背景をそぎ落として主張だけを見てみると、不況の中で政治改革、財政改革と唱える現在の政治家・評論家の主張と同じように感じられます。好況・不況相反する状況でもなお、求められること。これこそ、バブルの崩壊、リーマンショック、ギリシャ危機を経験し、100 年に一度の金融危機などという言葉を目にする現在の日本にとって必要なことではないでしょうか？私のような経済初心者にはわかりやすく、経済通の方には新たな発見があるかもしれない一冊です。

続いて紹介するのは、「フローラの神殿」(J.R.ソーントン荒俣宏編著)(※②)「黄金の鳥」(J-B オートベル L.P.J. ヴィエイヨー荒俣宏編著)(※③)です。この二冊、皆さんはどのような本だと思いますか？実は、図鑑なんです。荒俣宏編著と書かれているところに注目して、推測できた方はすばらしい。博物学者・小説家・収集家・

神秘学者・タレントなど数々の肩書きを持つ荒俣宏さんが編集された「とてつもなく美しい植物図鑑と鳥類図鑑」なのです。荒俣宏と聞いてピンとこない人もインターネットで検索してみてください。顔写真を見れば「ああっ！」と思いつくはずです。今回紹介した二冊の絵の美しさと解説のわかりやすさは図鑑の域を超えており、読み物であり美術書でもある、こだわりを持つ荒俣さんらしい作品だと思います。疲れたとき、心をほっとさせたいときにお勧めのとても美しい図鑑です。

(たけだ やすえ)

※①請求記号 332.106/S20

所在 中央館・書庫 3 層

※②請求記号 462.3/T1

所在 中央館・書庫 4 層

※③請求記号 462.3/A1

所在 中央館・書庫 4 層



月のきれいな夜は

資料整備チーム 菅野 なつき

久し振りに素敵な本に出会えました。その物語は終末に大きな感動が生まれます。

実在の方の話を元に書かれた「塩狩峠」。主人公永野信夫の、ごく普通の子供だった幼年期から立派な大人になるまでの半生を描いています。泣かずには読めませんでした。人のためになにかをする、これが人間にとってどんなに大切な心なのかが主人公の命をかけたメッセージに込められていると思います。三浦綾子は「泥流地帯」もそうですが、人間を描くのが本当に巧い作家だと思います。多分、大病をいくつも経験された中から、深みのあるやさしい文章が出てくるのでしょう。作者は、娘時代から、肺結核、脊髄カリエス、パーキンソン病とつぎつぎに難病におそわれます。だが、その病気をありのまま受け止め、時にはそれを糧にして書いてきた「塩狩峠」もそんな一作。主人公の恋人の病苦に自分を重ね、自分の思いを添わせているように思います。著作の多くは口述筆記で仕上げられましたが「塩狩峠」はその最初の一冊でした。後に映画化もされ文庫本は250万冊のロングセラーを続けています。人間の優しさを見たというのが、私のもっとも大きな感動の理由です。埼玉県では、小説版の話を元に道徳の教科書「かけがえのないきみだから」に塩狩峠が掲載されています。

本を読む時間を作ることも大変だと思いますが、心に迷いが出た時にお薦めの一冊

です。

(かんの なつき)

「三浦綾子全集第二巻」(塩狩峠)

著者：三浦綾子

出版社：(株)主婦の友社

出版年：1991 年

請求記号：918.68/MI/2

所在：中央館 3F-1 閲覧室



ブックハンティング2010 : 100万円で本を買おう！

今年もやりました！

学生のみなさんが、図書館資料を、実際に書店にて選ぶことができる企画です。

日時・場所 平成 22 年 6 月 7 日（月）17：30～19：00

いよてつ高島屋内紀伊國屋書店

ジュンク堂書店

参加人数 28 名

2007 年から始まったこの企画は、年々成熟度を増し、今年は充実したものになりました。1 時間 30 分という限られた時間のなか、担当者から注意事項の説明を聞くと、即本棚へ。ハンターの目はキラリ鋭く、大学所蔵に相応しい図書の選定に真剣でした。

選定図書 497 冊のうち、図書館で既に所蔵している本、品切れしていた本を除く 420 冊が今回の企画で購入されました。

10 月末日まで、中央館・医分館・農分館で別置しています。



図書館ホームページリニューアルのお知らせ

2010 年 10 月に、図書館のシステム更新がありました。
それに伴ってホームページも変化しています。

蔵書検索 (OPAC) の機能が大幅に増えました



変更点③

気になる書誌にブックマークをつけて、後で確認することができるようになりました。書誌の一覧をメールで送信することもできます。

変更点①

OPAC 画面から「利用者サービス」(=Web サービス) が使えるようになりました。予約・貸出状況確認に加えて、学生希望図書の申し込み、文献複写・貸借の依頼、教員の方は図書購入の申込もここからできるようになります。

★「利用者サービス」を利用するには申込みが必要です。こちら↓からどうぞ

<http://www.lib.ehime-u.ac.jp/SVC/>

変更点②

キーワード検索が加わりました。ここに言葉を入れることで、たとえば「村上春樹の書いた本」と「村上春樹について書かれた本」を同時に探すことができます。

【おまけ】

図書館 HP のトップページからも、蔵書検索ができるようになりました。

いろいろ機能の加わった図書館の OPAC,
ぜひたくさん利用して
図書館を使いこなしてくださいね。



「LS」とは「Library Supporter」の略称で
「図書館サポーター」のことだよ ^^



○月×日 LS 紹介

みなさん、こんにちは。私たち LS は、城北キャンパスの中央図書館と樽味キャンパスの農学部分館で利用者のみなさんにとって使いやすい図書館作りのお手伝いをしています。主な活動は、週に一度の図書館業務のお手伝い、「月刊ひよこ」の発行オススメ本の紹介などです。本が大好きな方あるいは司書になりたい方にはきっといい経験になる活動ばかりです。学生でありながら、図書館業務が経験出来る環境はあまりない貴重なことだと思います。



△月□日 ぶたおハウス発見!?



ぶたおハウスとは、「LS のオススメ本を読んだら、感想を書こう!」というものです。また、感想だけでなく、皆さんのオススメ本も是非教えて下さい!
LS オススメ本コーナーに、用紙&ぶたおハウスがあります。
皆さんの投稿お待ちしております!

☆月♪日 あのブックラウンジが・・・Σ(・o・:)



愛大 Muse2 階

みなさんは、ブックラウンジがどのような場所か知っていますか?ここは、空きコマや放課後などにちょっとくつろぎたいと思った時、誰でも気軽に利用できる場所です。図書館と違い、ソファや椅子がありゆったりとくつろいで本を読むことができます。
また、学生の声を取り入れて9月末にLSが改装したので、これまで利用したことがないという人も、ぜひ足を運んでみてください。



改装前です。改装後は・・・?
行って確かめてください♪

◇月*日 代表に聞いてみました

みなさん、図書館は好きですか?普段なにげなく利用している愛媛大学図書館も、日々変化と成長を遂げています。図書館は、私たちに新しい発見を与えてくれる場です。これからもぜひ積極的に図書館を利用してください(^)親しみやすい図書館作りに向けて、がんばっていきますので、今後とも図書館ならびに私たち LS をよろしく願います☆

△月0日 サポーターさんより

みなさんは図書館でどのような時間を過ごしていますか?資料探しや、勉強の場として図書館を利用する方も多いと思います。後期もたくさんの本と出合えるといいですね。これからも図書館のルールを守り、よい環境にできるようご協力をお願いします。



図書館日誌	
4 月 15 日	第 58 回中国四国地区大学図書館協議会総会（徳島）
16 日	第 37 回国立大学図書館協会中国四国地区協会総会（徳島）
27 日	第 1 回農分館運営委員会
5 月 14 日	平成 22 年度目録システム/ILL システム講習会担当者説明会（国立情報研究所）
20 日	平成 22 年国立大学図書館協会春季理事会（東京大学）
25 日	第 1 回図書館委員会
27 日	医学図書館協会通常総会（東京）～29 日
6 月 4 日	図書館講習会実施委員会（県立図書館）
7 日	ブックハンティング（紀伊國屋書店, ジュンク堂書店）
8 日	第 2 回農分館運営委員会
9 日	第 1 回医分館図書・情報委員会
18 日	第 57 回国立大学図書館協会総会（札幌）
18 日	平成 22 年度教科書展示会 ～7 月 1 日
19 日	第 6 回国立大学図書館協会マネジメントセミナー（札幌）
24 日	平成 22 年度著作権戦略検討委員会（産業科学技術支援センター）
7 月 5 日	平成 22 年度大学図書館職員長期研修（筑波大学）～7 月 16 日
5 日	ILL システム地域講習会講師ガイダンス（岡山大学）
14 日	第 2 回医分館図書・情報委員会
29 日	平成 22 年度著作権戦略検討委員会（産業科学技術支援センター）
8 月 5 日	愛媛地区大学図書館協議会企画委員会・総会
9 日	図書館サポーターとの集い
17 日	中央館蔵書点検 ～8 月 30 日
20 日	愛媛県図書館講習会（県立図書館）
25 日	第 1 回三輪田米山展（ミュージアム） ～2011 年 3 月 31 日
9 月 1 日	目録システム地域講習会（雑誌コース，鳥取大学総合メディア基盤センター） ～9 月 3 日
3 日	「全国遺跡資料リポジトリ・プロジェクト」担当者連絡・調整会議（大阪大学）
9 日	平成 22 年度 ILL システム講習会
15 日	第 3 回農分館運営委員会

愛媛大学図書館

愛媛大学図書館「図書館だより」第 89 号 2010 年 10 月 1 日発行

編集：館報編集委員会

発行：愛媛大学図書館 〒790-8577 松山市文京町3番 TEL (089)927-8845